

東京原水協の運動交流ニュース

原水爆禁止東京協議会

2015年7月2日 No. 586

豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館 3階

TEL 03(5395)4222 FAX 03(5395)4220

E-mail tokyo-gensuikyo@peace-21.org

東京原水協 7月常任理事会のご案内

記

日時: 7月10日(金) 午後6時30分～午後8時30分

会場: 豊島東部区民事務所・第4集会室(大塚駅北口徒歩2分)

議題: ・世界大会成功めざす運動について

・米国の核戦争に参加を意味する戦争立法反対の運動について

・7月の平和行進について

東京世界大会代表団 結団式

日時: 7月29日(水) 午後6時30分～8時30分

場所: 東京労働会館 7階(ラパス: 大塚駅南口徒歩5分)

内容: ①世界大会の特徴(NPTを経て核兵器全面禁止条約締結を展望する時代)の報告

②地域及び団体の代表の決意

③大会しおりの説明(輸送・宿泊の確認)

7/2 現在の東京の世界大会参加者申し込み数 646人

23区の練馬及び台東と三多摩の立川、清瀬、武蔵村山、調布及び日野以外の地域から449名の参加申し込みがありました。都団体から130名の申し込みです。まだの地域及び団体は至急参加の申し込みをお願いします。

16の地域原水協が10年前の大会参加者を上回り申し込みがありました。すべての地域で10年前を上回る参加をめざして奮闘をお願いいたします。

戦争法案は米国の核戦争態勢に日本が切れ目なく参加する道、絶対反対

4月27日、NPT再検討会議が開会された日、ニューヨークで岸田外務大臣と防衛大臣及び米国務・国防長官により「日米軍事協力の指針ガイドライン」に調印しました。世界の大多数の国が核兵器廃絶をめざし、討論を始めた日にガイドラインは「米国は引き続き、その核戦力を含むあらゆる種類の能力を通じ、日本に対して拡大抑止を提供する」とし、日米核軍事同盟を確認しています。ガイドラインと戦争法案は一体のものです。世界に対しての背信行為であり、日本が自ら進んで、世界から孤立する道を選びました。

自民・公明党は戦争法案を7月15日の衆院特別委員会で強行採決をめざしています。戦争法案の廃案をめざし、強行採決反対の世論を高めましょう。この運動にとりくみながら、世界大会代表派遣運動にとりくみましょう。

東京の平和行進 - 「米国の核戦争につながる戦争法案反対」・「オスプレイは横田に来るな」を掲げて歩こう

平和行進の三多摩の申請書が東京原水協の事務所にあります。担当の地域の責任者の方は、取りに来て下さい。

平和行進の準備をして下さい。